

## 住民に利便性の高い庁舎を視察

埼玉県北本市 平成26年11月26日〜27日  
東京都青梅市

築後40数年経過し庁舎新築工事がほぼ完成した埼玉県北本市、東京都青梅市の二施設の視察をした。両市ともに、都市部に近いことから、人口の増加が著しい。北本市はプレハブの第4庁舎の建設や、その他の付帯施設を建てて、現状の急場を凌いでいるありさまで、効率的な事務執行が求められていた。

耐震性の問題、庁舎が分散しているためにサービスへの支障、建物の老朽化、バリアフリー対策などの解決を迫られていた。

コンセプトは、両市ともに住民に利便性の高いサービスの提供を挙げている。

玄関から入ると一階のフロアは、利用者の多い市民課、福祉関係、税務関係などが利用しやすいように配置されている。一階の5分の2くらいのスペースが市民ロビーとして、来庁者のコミュニケーションの場所として準備されている。

職員の動きやすい環境づくりを重点に置き、カウンターの職員執務スペースを一人あたり約8㎡と、従来の1.5倍のスペースを確保している。デスクの配置等も見直して、来庁者と一体感が持てるような工夫をしていた。

また、両市ともに既存庁舎を整理しながら、日常の業務、サービスを停滞することなく、新庁舎に業務を移転することができたと自慢されていた。

北本市は、三階建てで低層の庁舎で周辺環境に配慮したとのことであった。建築費約34億円、人口6万8千人。一方、青梅市は7階建て併設4階建ての議会棟で構成されている。建築費約89億、人口13万7千人で、財政規模の違いはあるが、特記するところは、維持管理費を旧庁舎に比較して46%低減する目標で、太陽光・地熱・雨水・風などあらゆる自然のエネルギーを



北本市役所

取り入れて、ランニングコストの低減を計っている。翌日は、文京区にあるNECネットエスアイ㈱を視察した。事務所のIT関連商品及び、ペーパーレス事務所のあり方を先見した。また、銀座に新しく出来た県のサテライト・銀座NAGANOも視察した。

① 都市景観大賞「美しいまちなみ大賞」受賞2000年  
埼玉県川越市 川越歴史的町並み地区  
② 地域の特産品を活かした産業振興 道の駅「とみうら」  
千葉県南房総市

旧富浦町・枇杷倶楽部課として町職員が2〜5名で公共部門を担当し、㈱とみうら(町100%出資の第三セクター)が9名で営業部門(販売・卸・ツアー誘致・加工)を共同運営した。基本である地域の資源(びわ)を活用し500万円の仕入れに対し、関連商品で1億円を超える売り上げがあった。

年商はアクアライン開通の効果で、平成10年9月期9億5千900万あったが、交通の便が良くなり宿泊客が日帰りとなり減少したため平成25年9月期では6億6千900万円となった。

当町においてもメルシャン跡地に新庁舎が計画されているが、残りの土地の有効活用も検討され、一つの案として道の駅的な施設の必要性が問われる中、地域産業と融合された施設の運営ができないものか、感慨深い研修となった。最後に、立ち上げ当時から町建設経済常任委員会 委員長 小井土哲雄



道の駅とみうら・枇杷倶楽部

## 農業6次産業化の先進地を視察

埼玉県川越市 平成26年11月13日〜14日  
千葉県南房総市

## 「伝える広報」から「伝わる広報」へ

第81回町村議会広報研修会 平成26年10月21日〜22日

初日は、それぞれの分野で活躍されている3名の講師から研修を受けた。『伝える広報』から『伝わる広報』へを広報文章改善コンサルタントの小田順子氏、

「広報紙面デザインの基本知識」は武蔵野美術大学教授長澤忠徳氏、「写真の見方・考え方」で写真家の神島美明氏。

『伝える広報』から『伝わる広報』へは、見やすい文書の作り方として見やすい文書は得をする。

また見やすくする3つのポイントとして①図表やイラストを入れる、A4に一枚の写真・イラストを入れる②漢字を少なくする③改行、空白行を入れる。

さらに読みやすい文の書き方として一文は30文字以内で書く。長くても65文字以内で書く。

なぜ30文字なのかという人間が情報を保持できる時間は3秒、ドイツの神経生理学者、エルンスト・ペ

ツベルの「3秒ルール」によると1秒間に読むことができる文字数は10文字から13文字で30文字以内ということである。

「広報紙面デザインの基本知識」では、書体で見た目の大きさが変わることや見出しで内容を知らせることなど基礎知識を学んだ。

また書体(フォント)の使い過ぎに気をつけることやレイアウトでは、4段で1段の余白をとることなど「読ませる、魅せる広報媒体づくり」のポイントを教わった。

「写真の見方・考え方」では、写真の価値基準の変化しつかり撮るという意思が必要な時代になってきた。

自分の考えで見て伝える写真、また他の写真との差別化では写真に写らない季節感などを想像して撮ること、想像して見てもらう写真になる。

2日目は、議会報のクリ



ニックが開催され、講師は吉村潔氏(エディター、㈱メディアプレイン)であった。当町の議会報96号(6月議会)のクリニックを受け、ページごとに細かく、良い点や改善点の指導を受けた。文字数に制約があるなかで、いかにわかりやすく読んでもらえる魅力ある紙面づくりをするか、知恵を出し、取り組んでいきたい。議会だより編集委員会 委員長 市村千恵子

## 人事案件

固定資産評価審査委員会委員

土屋 和雄氏 を同意

草越在住67歳  
2期目で任期は平成27年1月1日から平成29年12月31日までの3年間

## 請願・陳情審議結果

請願・陳情	請願・陳情者	紹介議員	審議結果
2015年核不拡散条約(NPT)再検討会議において、日本政府が核兵器全面禁止のための決断と行動をすることを求める意見書の提出に関する請願	原水爆禁止佐久地区協議会 代表 望月清泰 軽井沢・御代田平和行進実行委員会 代表 土屋 千ヨ	奥田 敏治	採択 (意見書提出)
国土交通省告示第15号の履行に関する陳情	一般社団法人長野県建築士事務所協会 会長 池田 修平 一般社団法人長野県建築士事務所協会 佐久支部 支部長 佐藤 安幸		趣旨採択
最低制限価格の設定に関する陳情	一般社団法人長野県建築士事務所協会 会長 池田 修平 一般社団法人長野県建築士事務所協会 佐久支部 支部長 佐藤 安幸		趣旨採択
安全・安心の医療・介護の実現と夜勤改善・大幅増員を求める陳情	長野県医療労働組合連合会 執行委員長 小林 吟子		趣旨採択
介護従事者の処遇改善を求める陳情	長野県医療労働組合連合会 執行委員長 小林 吟子		不採択